

## デュッセルドルフ自転車デー「Radaktiv」

ドイツのデュッセルドルフ市にて、2009年6月27日(土)を「デュッセルドルフ自転車デー」と称して市民向けの自転車関連催事「Radaktiv」が開催された。

### 【Radaktiv】

主催： Schmidtstelle(イベント業者)

協賛： デュッセルドルフ市交通管理局、自転車小売店「Rad ab」

会場： ライン川沿い特設会場

会期： 2009年6月27日(土) 11:00~18:00

来場者数： 約20,000人

展示コーナー参加数： 50社(うち市内業者・団体30、市外20)



会場の様子(その1)



会場の様子(その2)

本催事は、2006年より開始され今年で4回目の開催となった。回を重ねるごとに出席社数は少しずつ増加し、今年の出展社は、地元自転車小売店を中心に各種インフォメーションブースなども含め50社を数えた。そのうち30社は、デュッセルドルフ市内の業者や団体であ

った。

主な自転車ブランドでは、ジャイアント、STEVENS、BMW Bikes、CUBE、ラレー、スペシャライズド、リーゼ&ミュラーなどの他、各ブースにはトレッキング車、スポーツ車を中心に電動アシスト車、リカンベントやクルーザーなども揃っていた。部品・付属品ではシマノ、ABUSのほか小売店ブースでヘルメット、サイクリングウェアなども見られた。



ジャイアント



ラレー



スペシャライズド



STEVENS

会場はライン川沿いの屋外にあり、誰でも気軽に立ち寄り場内を自由に見てまわることができる。子供車やリカンベント車などが試乗できる体験コース、各種トークショーなどもあり、ただ単に新商品を展示するだけではなく、親子連れで自転車に親しめるよう配慮されたイベント内容であった。また、完成車の販売も行われていた。

今回は開催中に雷雨に見舞われるなど天候が思わしくなく、主催者によると今年の来場者は約 20,000 人に止まった。なお、今回はデュッセルドルフ市外の各地域 17 コースからドイツ自転車クラブ (ADFC) のメンバー 1,000 名がデュッセルドルフ中央駅へ正午 12:00 に自転車で集結し、ライン川のイベント会場まで全員で自転車利用による二酸化炭素排出削減などをアピールする走行を行った。こうした走行にあたっては、市内に入るコースの途中から警察の誘導もあり、参加者への安全にも配慮がされていた。



子供車試乗コーナー



デモ走行の様様



インフォメーションブース (左; ミュンスター市、右; ADFC)

デュッセルドルフ市では、現在、全交通における自転車利用率は 9.5%程度と推計している。同市では 2005 年以來、170 万ユーロの予算を費やし自転車道路の整備を行っており、今のところ計画の 3 分の 2 が完成したと述べている。また、同市は「自転車にやさしい都市」共同体に 2007 年より加入しており、この催事が市民の自転車利用を促すきっかけとなることを望んでおり今後も支援を行う意向である。

まだ歴史も浅く市民への周知は充分とは言い難い面もあるが、この「自転車デー」が同市で約 100 万人の動員を誇る「日本デー」(日本文化紹介のイベント)のようなイベントに成長することに期待したい。

以上

(デュッセルドルフ事務所)